

令和6年度

歳入歳出決算の概要説明

部局名 知事室

知事室長の北廣 理人でございます。

よろしくお願い申し上げます。

それでは、決算の概要について、ご説明を申し上げます。

令和6年度の知事室全体の

歳入予算現額は 6億2,825万3,000円

調定額・収入済額ともに

6億2,263万5,614円

でございます。

次に、知事室全体の

歳出予算現額は 10億6,301万 円

支出済額は 10億3,691万5,866円

繰越額は 978万3,400円

不用額は 1,631万 734円

でございます。

不用につきましては、物件費等の執行残が主なものでございます。また繰越額につきましては、大阪・関西万博に係る取組の一つである催事「和歌山DAY」を実施するにあたり、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会からの催事実施基準等の発出の遅れにより、一部の準備業務の執行が困難となったため繰越を

するものでございます。

続きまして、「令和6年度主要施策の成果」に基づき、その中から主なものについてご説明申し上げます。

「令和6年度主要施策の成果」の5ページをお開き願います。

まず、秘書課では、「県知事表彰事務事業」として、公共の福祉増進に功労のあった方、その外広く県民の模範となるべき方の功績をたたえるため、54人と6団体の方々に知事から表彰状と記念品を贈呈しました。

この事業に係る決算額は、93万2千円でございます。

次に、「和歌山未来創造プラットフォーム事業」として、県内外で活躍している幅広い分野の有識者等の参加により設置した和歌山未来創造プラットフォームにおいて、本県を取り巻く課題等に関連する8つのテーマ毎にワーキングチームを組織し、各チームにおいて有識者から助言や提案等を受けました。

この事業に係る決算額は、112万2千円でございます。

次に、広報課では、「広報紙刊行事業」として、県の施策や方針などの県政の動きをまとめた「県民の友」を毎月約40万部発行し、市町村を通じて配布しまし

た。併せて目の不自由な方向けに点字版と音声版を発行し、希望される方にお届けしました。

この事業に係る決算額は、１億５９２万円でございます。

次に、「テレビ広報事業」として、テレビを通じて県政の動きなどを広く県民に周知するため、「きのくに２１」や「県民チャンネル」、「人権特別番組」などの広報番組をテレビ和歌山に委託し、制作・放送しました。

この事業に係る決算額は、１億７，２２７万８千円でございます。

次に、「全国発信広報事業」として、テレビなどの各種マスメディアへの露出や総合情報誌「和(なごみ)」の発行を通じ、全国に向けて本県の魅力や施策を積極的に発信しました。

この事業に係る決算額は、２，８３１万２千円でございます。

最後に、万博推進課では、令和５年度に引き続き「大阪・関西万博関西パビリオン和歌山ゾーン出展基本計画」に基づき、和歌山ゾーンの設営に向けて準備を進めてまいりました。また、昨年９月には、串本町潮岬

望楼の芝において、空飛ぶクルマの実証飛行イベントを実施し、10月には、和歌山ビッグウェーブにおいて「プレ万博」、12月には、県民文化会館大ホールにおいて「2025年大阪・関西万博100日前イベント」を実施するなど、県内の機運醸成に努めました。

この事業に係る決算額は、5億9,872万1千円でございます。

以上で、令和6年度の知事室の概要説明を終わらせていただきます。

何卒、ご審議の程、よろしくお願い申し上げます。